

相談室だより

(みさき・くろさき 2010年10月)

最近、出張や講演を聴く機会など多かったので、その一つを紹介します。

<1日90人…。「自殺と貧困から見えてくる日本シンポ」2010年9月 東京>

清水康之さん(NPO自殺対策支援センターライフリンク)、湯浅誠さん(反貧困ネットワーク事務局長)、香山リカさん(精神科医)がシンポジストでした。

まず、「東京マラソン」の映像が流され、その脇には、『自殺で亡くなる人の数 3万人 交通事故死亡者の6倍』というテロップが流されました。これは、紛れもない日本の現実です。未遂者は既遂者の10倍はいると言われ、この同じ時代・同じ社会で、毎日1000人もが自殺を図っていることになるわけです。以下、データを示します。

自殺についてのデータ

- 12年連続して、年間自殺者3万人(細かく言うと3万2000人~3万4000人)
 - 人口10万人あたりの自殺者で表される「自殺率」は25.3。アメリカの2倍、イギリスやイタリアの3倍という高さ
 - 20代30代の死因の第1位が自殺
 - 40代~60代の男性の自殺者が、全体の4割
 - 80歳以上の自殺率が31.4%
 - 自殺率の諸外国比では、男性8位、女性は3位
- 「自殺=身近な死」であり、「自殺=時代的な死」であるといえます。

ライフリンク「自殺実態1000人調査」より、事例(やはり、誰にでも起こりえることと感ずます)

【無職者(就業経験あり)】

- ① 失業→生活苦→多重債務→うつ病→自殺
- ② 連帯保証債務→倒産→離婚の悩み+将来生活への不安→自殺

【被雇用者】

- ① 配置転換→過労+職場の人間関係→うつ病→自殺
- ② 職場のいじめ→うつ病→自殺

【自営者】

- ① 事業不振→生活苦→多重債務→うつ病→自殺
- ② 介護疲れ→事業不振→過労→身体疾患+うつ病→自殺

【無職者(就業経験なし)】

- ① 子育ての悩み→夫婦間の不和→うつ病→自殺
- ② DV→うつ病+離婚の悩み→生活苦→多重債務→自殺

【学生】

- ① いじめ→学業不振+学内の人間関係(教師と)→進路の悩み→自殺
- ② 親子間の不和→ひきこもり→うつ病→将来生活への不安→自殺

(「自殺実態白書2008(特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク発行)」より)

~シンポジウムで印象に残ったコトバ~

『何とかなっている人は、社会保障の薄さに気付かないし、実感できない。しかし、これはフツウの人』

『自殺対策とは、生きたい人が生き続けられる社会を創ること』

- 自分でやっている人(フツウの人)は、家族や企業等に守られている。
- しかし、家族や企業といった守る者が、機能しなく(守れなく、守らなく)になっている。
 - ・核家族、無縁社会、派遣労働、成果主義
- では、どうするか?一朝一夕にはいかないが、次の2つが必要。
 - 今の社会保障を厚く、太くする
 - 新しい社会保障を創る
- 自殺は、複合的な問題(左下図参照)なので、あらゆる手段での対応が必要。
- 政府レベル、自治体レベル、民間団体・NPOレベル、地域・市民レベルの全ての面での連携が必要だが、これらがうまく連携できていないのが現状。
 - ・例えば、左下図[自営業]のケースで、「病院でうつ病を治療したら、自殺は防げるか」という問題。おそらく防げない。では、病院は治療と、多重債務や生活苦の対応をしなければならぬのか?病院だけで対応できるのか?

~日本の自殺対策の今~

清水さんは、こう例えられました。

『ようやく、マラソンのスタート地点に立ち、スタートの号砲が鳴り、その一歩目が地面に着くか着かないかの時。しかし、着実に進んではいます。今までは、スタートラインにも立てていなかった。』

<スタートラインに立てた理由>

自殺の背景にある「競争」や「排除」といった新自由主義へ対抗する“風”が吹き始めた。

貧困の可視化。人が取りこぼされる社会は、正常な社会ではない。

- ・派遣村-----就労者の3人に1人が非正規社員
- ・ワーキングプア--1100万人に迫り、4人に1人
- ・貧困率の発表—日本の貧困率は15.7%。約2,000万人の貧困者。
- ・子どもの貧困—子どもの約7人に1人が貧困状態
子供がいるシングルマザー・シングルファザーのいわゆる母子・父子家庭の60%近くが貧困層

<スタートをするのは、政府であり、私たち市民>

仮に制度が変わっても「競争や排除」といった空気が蔓延していれば、状況は変わりません。

私たち市民、一人ひとりが何か意識できるはず、何か行動できるはずです。

11月に行われる「人間らしく働くための九州セミナーin北九州」では、子どもの貧困がテーマの一つとなっています。

11月23日の福岡県連が主催する「水俣病健診」に参加します!!

今月の担当は、みさき病院 MSW 緒方でした。

